



令和4年度 PDA 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年12月17日（土）13:30-17:00

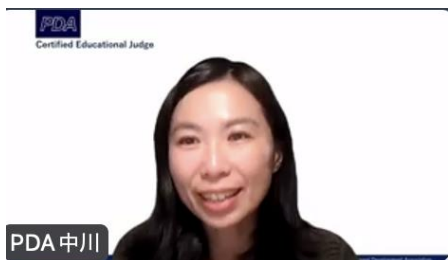
会場：オンライン（Zoom）

参加校：11校、20チーム（千代田区立九段中等教育学校、東京都立桜修館中等教育学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立三鷹中等教育学校、東京都立立川国際中等教育学校、東京都立南多摩中等教育学校、東京都立武蔵高等学校附属中学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東京都立富士高等学校附属中学校、東京都立白鷗高等学校附属中学校、東京都立両国高校附属中学校）

参加者：生徒77名、教員15名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、東京外国語大学

開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓より、「POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）を受けて返答すること、そして知らないトピックが出て諦めずにしっかり考えるということにチャレンジしてください。」とメッセージが送られました。次に、千代田区教育委員会事務局・子ども部指導課長の山本様より、「グローバルリーダーの育成が求められる中、本日のプログラムはとても意義深い内容です。これまでの活動の成果を十分に発揮し、学校生活の素晴らしい思い出の一つになることを願っています。」とご挨拶いただきました。その後、PDAスタッフより、参加校の紹介、評価基準の説明、そしてPOIの練習を行いました。



PDA 代表理事・中川智皓によるご挨拶



千代田区教育委員会事務局 山本様によるご挨拶



元気よく「POI！！」

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「*Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.* (園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。肯定側は運動嫌いの園児・児童にとってトラウマになってしまうと具体例を用いながら説明し、否定側はお菓子やメダルなどはモチベーションとして不十分であり、順位がつくからこそ練習したり協力したりするモチベーションが生まれるといったことについて理由を複数挙げながら説明しました。

ディベートの後はエアー握手を交わし、ジャッジの結果送信を待っている間、交流を深めました。その後、ジャッジより勝敗や個人コメントなどのフィードバックが行われました。



POI の質疑応答中 (九段 A vs 富士)



立川国際 B VS 三鷹 B



九段 B VS 立川国際 A



武蔵 A VS 三鷹 A



堂々とスピーチ (大泉 A VS 南多摩 A) アイコンタクトを意識! (小石川 B VS 白鷗)



元気よく POI! (武蔵 B)



ディベート後の交流 (武蔵 B VS 大泉 B)



ディベート後のエアー握手（両国 A VS 小石川 A）



ディベート後の交流（桜修館 A VS 南多摩 B） ジャッジコメント（桜修館 B VS 両国 B）

続く第2ラウンドのお題は、「*Japan should promote the use of nuclear power plants.*（日本は原子力発電所の利用を促進すべきである。）」でした。肯定側は、現状の火力発電による環境負荷を説明しつつ、代替発電として考えられる自然エネルギーよりも原子力発電の方が安定した電力供給にとって良いと説明しました。そして否定側は、原子力発電は事故のリスクがあると説明した上で、代替案の有効性を説明しました。また、第1ラウンド以上に POI を通した質疑応答も活発に行われました。



POI！（白鷗）



両国 A VS 桜修館 A



大泉 A VS 立川国際 A



POI！（武蔵 A）



笑顔でエアー握手（武蔵 A VS 九段 B）



ディベート後のエアー握手（白鷗 VS 三鷹 A）



ディベート後の交流（立川国際 B VS 小石川 A）

そしてジャッジが高く評価した生徒 6 名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan.* (アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。両チームとも、高校生の特徴や大学生の特徴を挙げながら、留学の目的と照らし合わせた議論を展開しました。途中 POI での質疑応答も行われ、内容に踏み込んだ質問をする場面もありました。甲乙つけがたいディベートとなりましたが、ディベートを観戦していた生徒・教員の挙手投票の結果、否定側の勝ちとなりました。



エキシビションディベートの様子

閉会式では、表彰式ののち、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓より講評が行われ、「わかりやすく伝える力はこれから特に重要な力となります。その力をさらに伸ばしていきましょう。」とメッセージが送られました。都立富士高等学校附属中学校・統括校長の勝嶋憲子先生のご挨拶をもって、令和 4 年度の PDA 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会が終了しました。



勝嶋先生による閉会のご挨拶

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM	富士	_____さん
LO	立川国際 A	_____さん
MG	三鷹 A	_____さん
MO	小石川 A	_____さん
LOR	両国 A	_____さん
PMR	大泉 A	_____さん



エキシビジョンディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1 位 東京都立桜修館中等教育学校 A チーム
- 2 位 東京都立三鷹中等教育学校 A チーム
- 3 位 東京都立大泉高等学校附属中学校 A チーム
- 4 位 千代田区立九段中等教育学校 A チーム
- 5 位 東京都立武蔵高等学校附属中学校 B チーム
- 6 位 東京都立小石川中等教育学校 A チーム
- 7 位 東京都立両国高校附属中学校 A チーム



1 位 東京都立桜修館中等教育学校 A チーム



上位校に送られるトロフィー

〈ベストディベータ賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- ・ _____さん（白鷗）★
- ・ _____さん（小石川 A）★
- ・ _____さん（九段 A）★

- ・ _____さん (両国 B)
- ・ _____さん (両国 A)
- ・ _____さん (富士)
- ・ _____さん (大泉 A)
- ・ _____さん (大泉 A)
- ・ _____さん (武蔵 B)
- ・ _____さん (武蔵 B)
- ・ _____さん (武蔵 A)
- ・ _____さん (南多摩 B)
- ・ _____さん (南多摩 A)
- ・ _____さん (立川国際 B)
- ・ _____さん (立川国際 A)
- ・ _____さん (三鷹 A)
- ・ _____さん (三鷹 A)
- ・ _____さん (小石川 B)
- ・ _____さん (桜修館 B)
- ・ _____さん (桜修館 A)
- ・ _____さん (九段 B)

〈POI 賞〉★は2回以上選ばれた生徒

- ・ _____さん (白鷗) ★
- ・ _____さん (武蔵 A) ★
- ・ _____さん (小石川 A) ★
- ・ _____さん (九段 A) ★
- ・ _____さん (富士) ★
- ・ _____さん (白鷗)
- ・ _____さん (武蔵 B)
- ・ _____さん (南多摩 B)
- ・ _____さん (南多摩 B)
- ・ _____さん (南多摩 B)
- ・ _____さん (南多摩 A)
- ・ _____さん (立川国際 B)
- ・ _____さん (三鷹 A)
- ・ _____さん (小石川 B)
- ・ _____さん (小石川 A)
- ・ _____さん (桜修館 B)
- ・ _____さん (桜修館 A)
- ・ _____さん (九段 B)

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・POI 面白かったです！！（桜修館）
- ・みんなの英語力が高く、議論を戦わせるのが面白かった。（桜修館）
- ・初めて参加したが、頭を使うのが楽しかった。（桜修館）
- ・頭をフル回転させていろいろ考えられたのでとても充実していました。（大泉）
- ・英語漬けの1日で、大変だったが楽しめた。来年も出場したい。（大泉）
- ・練習をしたつもりでも、本番になってみると緊張してしまったり、うまく質問が考えられなくなってしまうたりして難しかった。しかし、周囲がどれだけ話せているかを知り、より英語を学びたいと思いました。（大泉）
- ・いい経験になりました！もっと英語を勉強したいなと思いました。（大泉）
- ・今日はこの場を設けてくださって大変ありがとうございました！自分の成長と課題を見つめなおすことができたと思います。（大泉）
- ・初めてのディベートで緊張したが、なんとか途切れずに話すことができて良かった。（九段）
- ・他の学校の人たちのディベート力の高さに驚きました。とても楽しかったです。（九段）
- ・悔しい。もっと英語を勉強したい。（九段）
- ・自分の立場を勝ちに進めるために崩されにくい意見をだしたり相手側を反論したりするのが楽しかった。（九段）
- ・楽しかったです！（小石川）
- ・思いがけず活躍ができてうれしかったです。いろんな講評を聞くことができ、より自分のディベート力が高まったように思います。（小石川）
- ・肯定と否定どちらの観点からも問題に対して注意深く考察することができた。（南多摩）
- ・初めてあった人とディベートをするのは新鮮だったからです。（白鷗）
- ・練習の成果が発揮できてよかった。他校のスピーカーのレベルの高さに驚いた。（武蔵）
- ・チームみんなで考えるのが楽しかった。チームメイトがベストディベータに選ばれてうれしかった。（立川国際）
- ・同じ学年でも英語で論理立てた、説得力のある説明をしている方がたくさんいらっやって、とても感心しました。私もこれから英語力を上げていこうと思うきっかけになりました。（立川国際）
- ・いろんな論題に触れることが出来た。ほかの中学校と交流できた。（両国）
- ・即興の英語力や思考力だけでなく、チームワークが身に付き、クラスメイトと仲良くなれました！また、他の学校の生徒さんとも交流できる本当に貴重な機会をいただき、他愛もないお話に花を咲かせられました！（両国）
- ・丁寧な講評までいただけて、英語のモチベーションになりました。（三鷹）
- ・さまざまな学校と交流でき、普段練習できない同学年の人たちとディベートできた。（富士）
- ・生徒が大会に向け前向きに努力することができました。（教員）
- ・とても元気で発想力豊かな生徒の意見を聞いた。（教員）
- ・規模が大きくなっていてとても嬉しいです。（教員）
- ・生徒が他校の生徒とのディベートに普段以上に嬉々として取り組んでいた。（教員）
- ・ディベートの準備、練習を介した生徒たち成長（英語力だけでなく）、またディベートの効果を感じることができてとても良かったです。（教員）